

アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名[台湾 台北市 日新小学校] 担当教諭[王慧玲]			
児童生徒の学年・クラス・参加人数:[五年七組 27名]			
実施期間: 2010年9月～2011年3月			
交流:無・有 国名[日本] 学校名[四十万小学校] 「六年一組」 担当教諭[坂上 則子]			
実施教科・時数	教科	単元名	時数
アートマイルに関連した時間すべて(総合は外国語活動、環境など中身がわかるよう)。必要に応じて行を追加してください。	英語	テレビ会議の発表の下書き作業	8時間
		留学生の日記	10時間
	芸術と人文	アートマイル・日本文化の紹介	24時間

■作品について教えてください。

題(テーマ)	台北国際花博覧会と校内の歴史建築—赤レンガ
絵に込めたメッセージ	1. 絵を通じて台北国際花博覧会で表現された理念(園芸・人文・ハイテク・環境保護に関する技術)を伝えること。 2. 絵を通じて学校の歴史建築—赤レンガの修繕過程を表現すること。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	1. 先生同士のテレビ会議:今年新しく投入する先生の紹介、絵のテーマと話題の相談。 2. 生徒に去年の活動の紹介	生徒は、まだ受ける立場なので反応があまり積極ではないようです。 生徒に対して、英語で交流するには、書きや話すのも不安だった。	英語 芸術と人文
情報収集	9月～3月	1. 自己紹介のIDカードの制作。 2. 花の博覧会の情報調べ 3. 校内の先生にインタビューをして、学校のことを調べる。 4. 赤レンガについて、調べる	カードの制作に入ってから、活動に対する意識をし始めた。	英語 芸術と人文
テーマ検討		テレビ会議を四回行い、テーマの発表はパワーポイントとフレッシュカード、二つの方式だった。 その中、学生も踊りや歌などを披露した。このような演出で台湾の学生の活発性を見せた。	いろいろな発表のやり方を試してみたが、その中で堅苦しいレポートより、演出のほうがずっと熱心だった。	英語 芸術と人文
制作	冬休み中	構図 下書き→着色→完成	クラス全員で決め。 絵の作業は、クラスの10名の希望者が、冬休み中に五日間かかって、完成した。しかも、この10名は特別に絵の訓練などをうけたことないからこそ、絵が完成されたとき、自分も信じら	芸術と人文

			れなかった。他のクラスメートが絵を見て、「すごい」と褒めてあげた。この10名もかなり自信をつけたようです。	
鑑賞	2月 末	説明付けで図書館の入り口に飾った。	丁度、飾った日が学校日だったから、保護者達も見ることができた。 絵を通じて、金沢の文化及び職人のことがわかった。	

■学習目標と成果はどうでしょうか？（「重視」には指導にあたって重視したものを1位～5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1～5で評価してください。）

（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった）

つけたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル	5	5・4・ <u>3</u> ・2・1	コミュニケーションをとるというよりは、生徒はただ原稿を読んでいるような気がする。
情報活用能力(収集・発信)		5・4・3・ <u>2</u> ・1	今回は本を与えて、その中から必要なものを取り出してもらったが、あまりポイントが絞れなかった。結局こちらからもう一度見直したことになった。
人間関係をつくる(交流相手・学級内)	1	<u>5</u> ・4・3・2・1	初めて、対面したこともない人にカードを書くから、内容どころか、どこから書くことさえ難しかった。どんな時点で人のために、いろいろしてあげるの、受けてからやっと理解できた。例えば、いつプレゼントをすること。
協同作業をする力(役割・段取り)	3	5・ <u>4</u> ・3・2・1	能力がいい子はあまりできない子を助けた。
異文化の理解	2	5・ <u>4</u> ・3・2・1	活動や日本文化の紹介などを通して、交流する前より、相手の文化がもっとわかった。
自文化の理解・自分を見つめる		5・4・ <u>3</u> ・2・1	情報を収集するからこそ、自分の町のことや学校の歴史も改めて勉強できた。
表現力		<u>5</u> ・4・3・2・1	いろいろな方式を試してみたが、堅苦しいレポートより、演出のほうがずっと好きなようです。
学習を追究する意欲	4	5・4・ <u>3</u> ・2・1	積極的な態度を見せなかった。まるで普通の宿題をしているような感じだった。
作品を鑑賞する力		5・4・ <u>3</u> ・2・1	鑑賞のことよりも、10名だけ、自分の部分が完成できるなんて、とても感心した。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
一番の成果というと、異文化との人間関係をつくったこと。この活動から、相手のために、いつか何をするかのを学んだ。だからこそ、今回の東北大地震の被災地の人々を励ますために、他のクラスの生徒にもハード便箋にメッセージを書いてもらい、励ますポスターを制作した。	今回の時間は、英語と美術の時間しかないから、限られた時間にたくさんのことをしなければならないため、どうしても先生の手伝いが多すぎてしまう点がある。

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
図書館の入り口に飾ったため、学校の関係者以外も通りかかった人にも鑑賞してもらうことができた。	このようなプロジェクトに応援する声が届いた。また異文化の交流も賛成し、さらに、ぜひとも日本へ行って、見学したいとの声もあった。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

英語の先生の感想：

この活動を通じて、どのくらい英語力を高めるかは、ちょっと疑問を持っている。しかし、この活動で先生と生徒の気持ちが一つになれて、目標を達せするために、一緒に頑張っていこうとの気持ちが強かった。お互いの関係もよくなって、距離も短くなったことがよかったと思っているとのこと。

担当教諭の感想：

テレビ会議が進行中に、お互いが言っていることをその場で理解するのが時には非常に難しいらしい。例えば、フレッシュカードがあっても、理解できないこともある。このようなことはどうすれば、改善できるか。例えば、先生から生徒に相手の報告内容について事前導入をするかなどの方法。これは、両側の先生にとって、今後考えていかなければならないことだと思う。テレビ会議の後、時間があって、反省会などを行っているのなら、いいけれども、何もしないで済ませるなら、この交流会が無駄になりがちのような気がする。